

令和5年度高知県みどりの学習旅行プログラムづくり事業（みどりのプロジェクト連携事業）

事業の目的

大阪・関西万博を控え、高まるSDGsニーズやインバウンド観光を見据え、高知県内の中山間地域をはじめとした地域に存在する地域資源を、SDGsをテーマとした体験学習ツーリズムで活用できるよう日本みどりのプロジェクト参画会員団体等と連携して磨き上げる。

事業の概要

【主な連携先（ ）内はピックアップ先の例】

- ① 梶原町（隈研吾建築群、林業体験）
- ② 津野町（四国カルスト、四万十川源流点）
- ③ 四万十町（四万十川、集落活動センター）
- ④ (株)日刊スポーツ新聞西日本
- ⑤ 高知県

日本一の森林率（≒84%）の高知県でも特に林業が盛んな地域でもある高幡地域で森とともに暮らす人々の営みに触れながら、SDGsにつながる気づきや地域課題の解決の糸口を考える旅になるよう関西圏の大学生によるモニターツアーを行う。モニターの声や本ツアー自体の結果は公開し、地域の資源や体験学習旅行の目的地としての魅力の拡散・拡大につなげる。

【参加者】

関西圏のSDGsに関心の高い大学生（関西大学）

主なアウトプット

新聞記事化
「日本みどりのプロジェクト」HP等での公開

実施内容



日本みどりのプロジェクト
SDGsを学び、体験し、伝える
「みどりの修学旅行」プロジェクト
日本みどりのプロジェクト
JAPAN GREEN PROJECT
Go Greenプロジェクト
森を知り、学び、遊ぶ
高知県みどりの体験学習旅

事前学習（オンライン）

地域の人が住まうまちの特徴や自慢や課題などを説明。



現地体験学習

森を知る、学ぶ、遊ぶといったテーマのもと、地域の人々との交流などによって地域の現状を深く感じ取る。



事後研修（まとめ）@大阪

この旅が、何に資するのか、この旅を通じて得られる事柄が何だったのか。地域の現状に触れて実感することをまとめる。



支援事業の成果

SDGs関連記事の掲出

・日刊スポーツで大学生と連携した取組を広くPR。



日本みどりのプロジェクトを通じた掲出

・ホームページや大阪・関西万博と連携した広報等。

事業のポイント

◆ ツアー期間：令和5年11月28日(火)から30日(木) 3日間 ◆ 集合場所：高知駅前

- ① SDGsの観点を取り込み、中山間地域のあらゆる素材を見直し、地域住民の課題解決につなげる
- ② 森とともに暮らす人々や移住者などとの交流を、SDGsの学習の場に転換できるよう変換していく。
- ③ OB・OGの感じたことなども活かしながら、参加者や地域が共感を深める貴重な機会とする。
- ④ 成果物は同世代の共感を得ることや、体験学習旅行の目的地としての魅力発信にも活用。
- ⑤ 本事業を通じ、参加者や地域の皆様にとって、かけがえのない経験となるよう取り組む。